

山と建築

担当教員：飛ヶ谷 潤一郎 准教授
022-795-5025
junichiro.higaya.d7@tohoku.ac.jp

受入人数：最大12人

実施時期：第2セメスター 木曜・5講時を基本とする。ただし、2回目以降の授業日・講時は初回授業時に受講者と相談して決定。通常授業ほか、現地調査見学（1日の行程で実施予定、土曜日の可能性あり）を1～2回程度行う。また、今後のBCPレベルの変化に伴い、内容を変更することがある。

開始日時：10月6日（木）16：30から

場 所：建築・社会環境工学科 人間・環境系教育研究棟 1階104号室

概 要：建築は敷地に限定されるため、同じ形の建築が複数存在したとしても、場所はそれぞれ異なるため、全く違った印象を与えることもしばしばある。都市と田園、あるいは日本と外国の場合を考えればわかりやすいだろう。このテーマでは、特殊な敷地として山や丘、傾斜地などを例に取り上げ、仙台近郊の建築を実際に訪れるとともに、国内外における山の建築を学ぶことによって、建築と場所の関係について議論を展開することをねらいとしたい。